

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ

Theme

「自動車工業—みんなで生きる」

講師等

Lecturer etc.

滋賀ダイハツ販売株式会社

学校・園名

School name

草津市立志津南小学校(5年生)

実施日

Date

平成24年10月25日

教科等

Subject etc.

総合的な学習の時間、社会

授業 Class

来月、5年生は自動車の製造過程の見学に行く予定です。そこで、事前学習を兼ねて、軽乗用車、商用車・特装車(はたらく車)、福祉車両を製造しているダイハツの販売の方に、福祉車両についていろいろと教えていただきました。

ところで、福祉車両は、どんな方が使っているのでしょうか？福祉車両は、障害のある方や体が不自由な方、お年寄りや妊婦さん、ケガをした方を介助する方が使用されます。体が思うように動かさなかったり、体の健康を十分に気をつけてあげなければいけない方を介助するご家族等が、安心してお出かけのお手伝いができるように、福祉車両が必要とされています。福祉車両には、介護式(例:スロープタイプ…車いすに乗ったまま乗降できるもの、昇降シートタイプ…助手席が車外に回転した後、低い位置まで下がるものなど)や自操式(手だけで運転できたり…など体が不自由な方が自分で運転できるもの)がありますが、福祉車両も他の車と同じ一つのラインで造られることを聞くと、児童たちはとてもびっくりした様子でした。

福祉車両は、体が不自由な方が移動する楽しみや出かける喜びを感じてもらう役目があること、また、介助する方には疲労の軽減や危険回避の役目があることを教えていただき、今回は介護式のスロープタイプと昇降シートタイプの車両に実際に乗り、体験しました。



感想 Impression

児童より Impression from Children

- 福祉車両はいろいろな工夫がされていて、体が不自由な方も楽々、乗れることがわかりました。
- 福祉車両のことについて、たくさん知ることが出来て良かったです。特に、ラインにのって一緒につくっていると聞いて、びっくりしました。
- テレビで見ていたけど、本当に操作してみて、思ったよりゆっくりと動くことがわかりました。ゆっくり動かなければ困るのかなと思いました。

学校より Impression from school

前回同様、しが学校支援センターが連絡を取ってくださったので、講師の方ともスムーズに打ち合わせが出来ました。ダイハツの方が、事前にDVDを用意して下さったり、講話の内容をこちらの要望に合わせて、内容を一部変えたりしていただきました。パワーポイントは勿論、書き込むワークシートも用意して下さったので、子どもたちはより聞きやすかったです。

講師より Impression from lecturer

5月に依頼を頂戴しましたので、6-7月は電話での打合せ、9月は現地での打合せと、実施日までにはゆとりがあった事で事前準備を十分に行なえた事は双方にとって良かったと思います。打合せにより、こちら側から考える一方通行の内容では無く、先生の意向に沿った支援の実施内容計画を煮詰められたことも良かったです。当日、先生側から予定していたタイムスケジュールを変更し、開始時間を早めるご提案をして下さった事で、質問時間・移動時間・準備時間に余裕を持って行なう事が出来ましたので感謝しております。

児童の皆さんへの体験では、思いのほか時間がかかり未体験の子どもが出来たので、今後の支援ではその点を先生としっかりと打ち合わせをしていきます。